

# 災害遺構(あるいは災害遺産)の利活用のためのメモ

人間文化研究機構 国立民族学博物館

林 勲男

多くの「災害遺構」とそれらのリストやデータベースの存在（前回委員会）

防災・減災に、これらをいかに利活用かを考える  
＝本委員会の目的

そのために

### 利活用事例の収集と分析

素材としての  
「遺構」

活動主体

組織化プロセス

活動資金

活動内容

課題とその  
解決

活動発表や評価の機会  
(メディアによる紹介や賞などを含む)

etc.

個別特性と一般化の可能性の析出



利活用のための仕掛け  
づくりの検討

## 「災害遺構」(あるいは「災害遺産」)

災害の事実を伝え、記憶を喚起し、将来の災害への対応について考えるための資源

そのものが持つ存在感:

- ・遺構(被害を受けた構造物)は被災前の姿と機能を想起させ、保存の判断に至るまでの経緯にかかわる葛藤をも伝える。
- ・文書や石碑は、出来事を記録し後世に伝えることの重要性を認識した人びとの判断や記録・建立・保存等の努力も伝える。

下線部分＝物語り化

- ・儀礼・祭礼などの行事や歌・演劇などは、人びとの想像力の豊かさや文化の持つ持続性を示す(ただ常に地域社会など担い手の持続性に依存するため、メタ情報の保存と継承も必要)

## 和歌山県印南(いなみ)中学校の取り組み

2004年12月のスマトラ沖地震・インド洋津波災害がきっかけ  
リーフレット「印南の津波災害—過去・未来—」の作成と校区内全約900世帯への配布

2011年度からは、3年生の総合的な学習の時間に取り組み、町内に残る津波被害に  
関する歴史資料の分析、歴史を元にした紙芝居の作成といった活動を行う

それ以前には、印南湾の地形の模型を作り水を流して津波の動きを再現  
和歌山高専の協力でコンピューターによる津波襲来のシミュレーション

2010・11・12年度、「ぼうさい甲子園」奨励賞 2013年度は津波ぼうさい賞

2013年には、これまでの研究成果をまとめた冊子『知っていますか？ 地震と津波  
Part2』を作成(第1章:津波・地震発生の基本事項、第2章:印南町での津波被害のシ  
ミュレーション、第3章:過去の巨大津波の分析)

地元ライオンズクラブの協賛により、リーフレット  
冊子を作成

メディア:紀伊民報、日高新報(受賞記事)  
ぼうさい甲子園での受賞  
文化祭での発表



## 津波伝承板の設置 日高新報 2014年2月28日

<http://www.hidakashimpo.co.jp/news/2014/02/post-1707.html>

- ・印定寺に宝永地震津波の13回忌にあたる享保4年(1719)に作られた「津浪溺死霊名合同位牌」と「高波溺死靈魂之墓碑」
- ・「宝永南海地震津波の記念碑に学ぶ」と題して位牌や墓碑の存在を写真入りで伝え、「私たちはこの災害を次の世代へ確実に受け継いでいかねばならない」とし、裏面には合同位牌に書かれている津波の惨状を記している。



## 「かめや板壁」の解説 紀州新聞 2015年8月28日

<http://blog.goo.ne.jp/ks-press/e/dbe90cbd10251c897c58226c2445e227>

- ・蔵の板壁に津波の被害などが記されていた。昭和26年に蔵を取り壊す際に、貴重な資料として、書かれた板を取り外し保存するとともに解説
- ・存在を知る人がほとんどいなくなっていた。  
2013年に内閣府の調査団が同町を訪れ、「貴重なものだ」と興味
- ・3年生有志が、県立文書館の協力を得て解説を完了



## 子どもたちが調べ 成果を生み出す

山口県周防大島町立城山小学校（児童＋一般参加者） 2014年度チャレンジ

「地域を見つめ、生きる力を育む防災教育」

・津波伝承者への聞き取り、伝承地見学（＋伝承者・研究者の解説）、  
出前授業（講師：伝承者、山口大・東北大の研究者）

・「ぼうさいかぞえ唄（いのこ唄）」by 教頭 with 亥の子石

小冊子『瀬戸内海でもご用心』CD「ぼうさいかぞえ唄」付

防災学習の成果を、地域伝承行事「亥の子」をもとに「かぞえ唄」にまとめ  
CD化

<http://www.bosai-study.net/2014houkoku/plan.php?type=1&no=10>

## 大人が調べ 子どもたちに伝える「教材」・資料を提供する 2013年度チャレンジ

長野県飯田市赤十字奉仕団

「郷土にまつわる災害伝承紙芝居の作成と活用」

・昭和22年4月20日発生した飯田大火と中学生によって作られた  
りんご並木を題材とした紙芝居及び紙芝居DVDを制作する。

・紙芝居「飯田大火とりんご並木」

・制作した紙芝居を、市内及び東北の被災地などで上演し、交流を深める

<http://www.bosai-study.net/2013houkoku/info.php?type=1&no=4>